

注意報第4号

農研生環 第390号
平成15年9月3日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報の発令について（送付）

このことについて、平成15年度病害虫発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

注 意 報

平成15年度発生予察注意報第4号

平成15年9月3日
熊本県病害虫防除所長

農作物名 カキ、ナシ、カンキツ類（極早生、早生温州）

病害虫名 果樹カメムシ類
（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

1 予報内容

- （1）発生地域 県下全域
- （2）発生時期 9月以降
- （3）発生程度 平年比 やや多

2 注意報発令の根拠

- （1）本年は果樹カメムシ類の越冬世代数が少なく、春から7月にかけてやや少～並の発生状況で推移してきたが、8月4半旬より予察灯の誘殺数が増加している。
- （2）ヒノキ球果の口針鞘数は、地域によるバラツキはあるが、一部の地域では8月下旬にカメムシ離脱の目安である一球果当たり25本を超えており、他の地域でも現在増加中である。

(3) ヒノキ樹のビーティング（枝の叩き落とし）調査では8月下旬頃より、捕獲虫数が増加している。

(4) 県北部のカキ園では8月末より吸汁加害が始まり、一部落果する被害が認められている。

以上のことから、当年世代のカメムシ類がスギ、ヒノキ林で8月頃より増加し、今後果樹園に飛来することが予想される。

3 防除上注意すべき事項

(1) 地域によって飛来量が異なるので、園内および園周辺をよく見回り、早期発見、早期防除に努める。

(2) カメムシ類は夜間に果樹園での密度が高まるので防除は夕方または早朝に行う。

(3) 合成ピレスロイド系薬剤を連用するとハダニやコナカイガラムシ類が急増することがあるので注意する。

(4) 農薬の使用にあたっては、必ず農薬ごとに定められた使用基準を守り、安全な農産物の生産に努める。